

<教育長だより 73号 枇差岳朝日に映えて 令和7年12月10日>

人権週間

教育長 津野庄一郎

12月4日～10日は「人権週間」です。これは法務省が世界人権宣言の採択を記念し、人権思想の普及を図ることを目的に、全国的な啓発活動を開催するためのものです。

<1年：題材「おにごっこ」～仲間はずし～を指導する伊藤真由美先生 12月5日>



新潟県では「いのち・愛・人権」展が加茂市で開催され、一人一人が人権問題について学び、みんなで協力して差別をなくすための感性と知識、行動力を身に付けることを目指しており、当村も毎年パネルで発表しています。

<6年：題材「渋染一揆」～差別に立ち向かった人々～を指導する宮地聰子先生 12月5日>



先日、関川小・中学校で人権教育・同和教育の公開授業・研修会が指導者（小：胎内市立乙小学校磯部一樹教諭 中：義務教育課人権教育班本間隆博指導主事）を招いて行われ、保護者や関係者も参観しました。発達段階に応じた題材をもとに、いじめの事案から部

<関川中学校の協議会・研修会の様子 11月28日>

分事として捉えて、真剣に学ぶ子どもの姿がありました。指導者からは、「思いやりは個人の問題、差別や人権課題は社会の問題であることへの受け止めが重要で、一方的な温情や優しさだけでは解決しない」というお話がありました。

落差別や就職差別などの問題を自らの問題として捉えて、真剣に学ぶ子どもの姿がありました。指導者からは、「思いやりは個人の問題、差別や人権課題は社会の問題であることへの受け止めが重要で、一方的な温情や優しさだけでは解決しない」というお話がありました。

未来を生きる子どもたちが、自らの人権を尊重し、他者の人権も守るという人権感覚を磨き、進んで人権が尊重される社会の担い手となるよう、大人も学び、協力し合い、努力することが求められていると感じました。